平成２１年度　　平成２２年３月１６日

納所だより

京都市立納所小学校
校長　野中　哲也

3月臨時号　学校評価

後期学校評価の集計結果をお知らせします。

外部評価にご協力くださりありがとうございました。

梅の花も咲きすっかり春らしくなってまいりました。皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成２１年度も残りわずかとなりました。この１年間，本校教育の発展，充実のために惜しみなくお力をご提供してくださいました保護者・地域の皆様方に，心より感謝申し上げます。

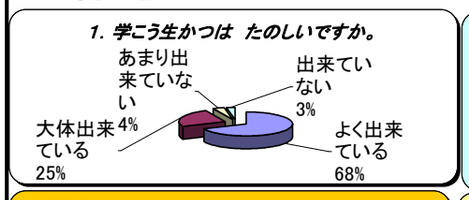
来年度も新たな課題と向き合いながら，実践を進めていきます。引き続き，ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

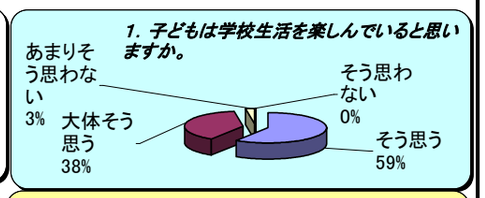
さて，保護者並びに地域の皆様方にご協力いただきました，後期「学校評価（外部評価）」の結果について，教職員の「自己評価」と児童による「自分のふりかえり」の結果と合わせてお知らせします。

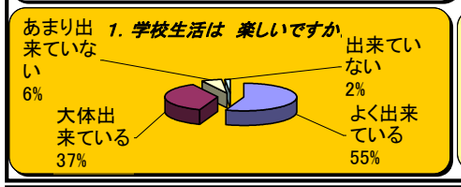
この結果をこれからの学校運営に活かしていけるよう，改善点を明らかにして今後の取組を進めていきたいと思います。

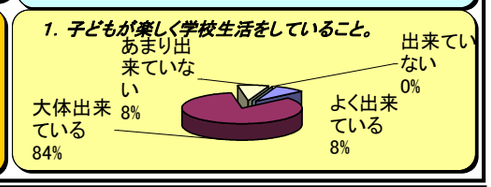
児童（低）　児童（高）　外部評価　教職員

1　学校生活について

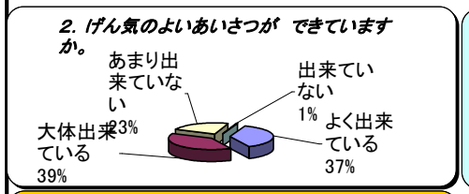


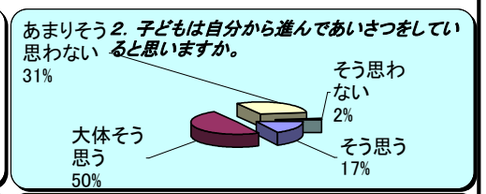


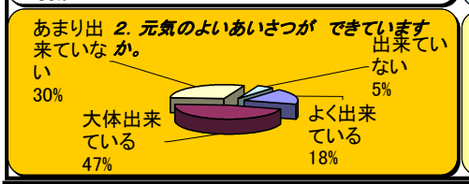


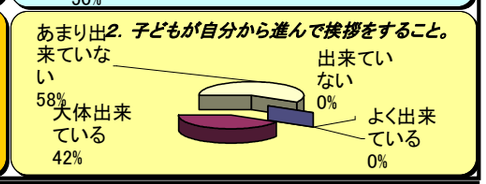


2　あいさつについて

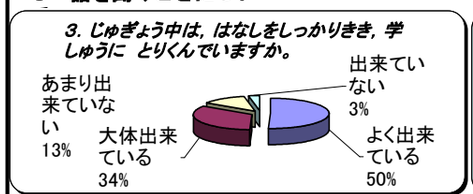


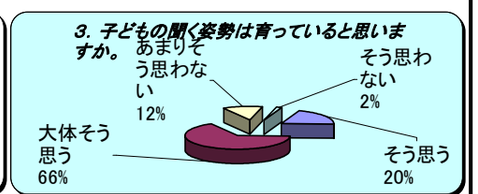


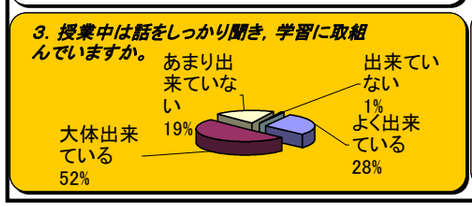


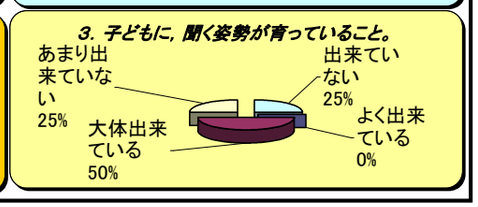


3　話を聞くことについ

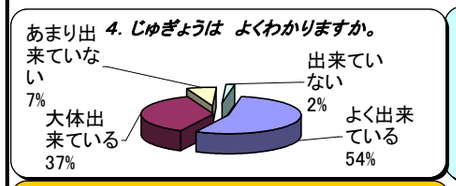


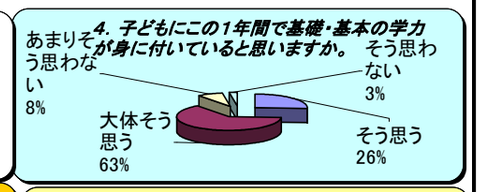


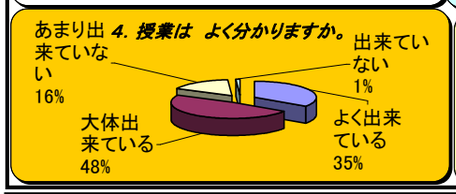


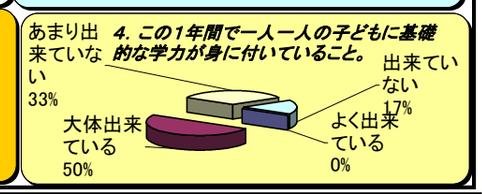


4　授業・学力について

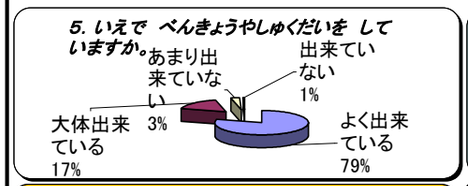


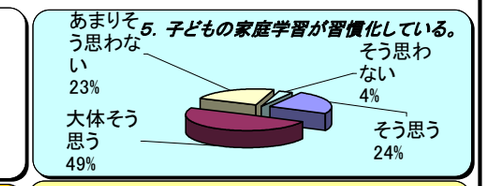


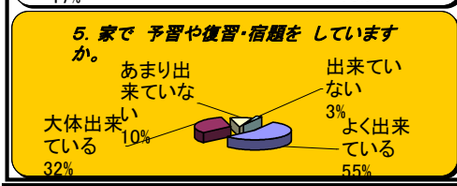


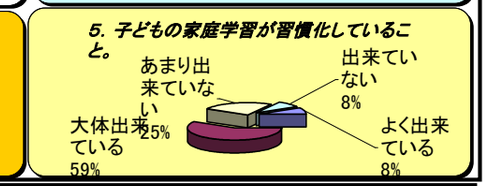


5　家庭学習について

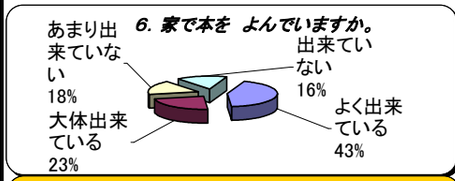


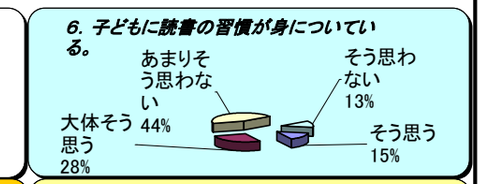


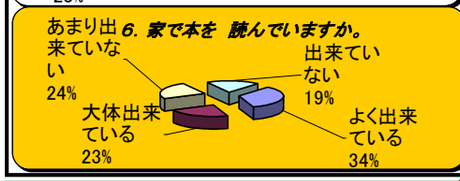


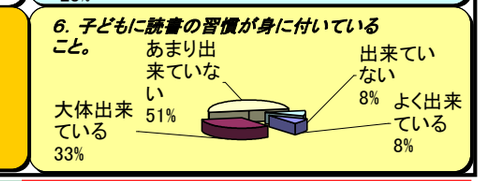


6　家での読書について

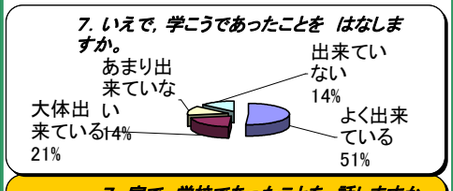


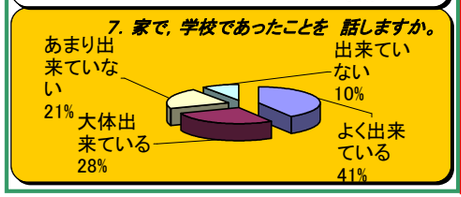




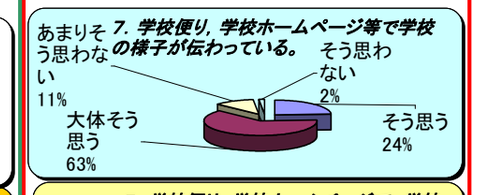


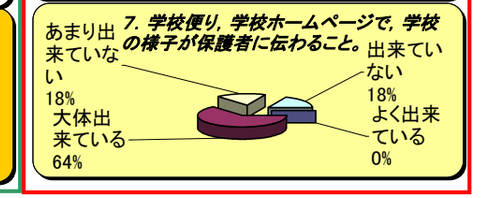
7　学校であったことを話していますか





7　学校の様子について





1　学校生活について

児童（低・高），外部（保護者・地域），教職員の三者とも９０％以上は「楽しんでいる」「大体楽しんでいる」と答えていますが，前年度又は前期学校評価と同様に８％の児童が「楽しめていない」と答えています。毎回の結果がほとんど変わりません。

《改善点》全教職員が子ども一人一人をしっかり見つめ，「楽しくない」要因をしっかり分析し，その要因を取り除く努力をし，どの子にとっても「楽しい学校」づくりに向けて全力を挙げてっ努力していきます。

2　あいさつについて

外部評価，低学年・高学年とも「大体出来ている」以上が６５％～７５％の答えを出していますが，教職員の評価では「あまり出来ていない」以下の答えがが５８％になっています。例年通り登校時のあいさつに元気が見られません。

《改善点》挨拶は学校内外問わず，日常生活の中で大切なことです。全教職員，全児童がいろいろな場で積極的に挨拶するようにしていかねばなりません。特に，高学年児童の挨拶の指導の強化を図っていきます。

3　話を聞くことについて

児童（低・高），外部評価では「大体出来ている」「出来ている」に８０％を超える答えが出ていますが，教職員では「あまり出来ていない」「出来ていない」が５０％です。

《改善点》「人の話をしっかり聞く」ということは学習においても日常生活においても基本となることです。授業中はもちろんのこと全ての学校生活の中で話をしっかり聞くことを全校あげての課題として取り組んでいきます。

4　授業・基礎基本の学力について

授業はよく分かりますかについては児童（低・高），外部評価とも「大体出来ている」「出来ている」に８０％以上の答えが出ていますが。教職員の基礎基本の学力が身に付いていますかの評価は「大体出来ている」が５０％に過ぎません。

５・６　家庭学習・読書について

家庭学習については低学年で４％，高学年では１３％が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えている状況です。読書については約４０％の児童が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答え，外部評価，教職員の評価では約６０％近くが「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えています。

《改善点》一人一人の学力を保障するのは学校の職責です。常に授業改善を図り「分かる授業」を目指さなければなりません。家庭学習においても各家庭と連絡を密にして，子どもたちの学力（学習）・読書・家庭学習の状況を知らせていくことが大切になってきます。そして，内容や方法をしっかり伝えていかねばなりません。大変重要な課題です。家での読書についても，特に土・日曜日の読書についての取組を進めていかなければならないと考えます。

7　学校であった事を話していますか（児童）

児童の振り返りでは低・高ともに３０％が「出来ていない」「あまり出来ていない」と答えています。子ども一人一人によっても違いますが，親としても話させるよう働きかけてください。

7　学校の様子について（外部・教職員評価）

今年度より新しいホームページに変わり，日々の学校の様子や子どもたちの授業中の活動などをリアルタイムで発信しています。また，携帯電話からでもご覧になれます。学校の様子があまり伝わっていないと思われる方はどうぞご活用ください。また，毎週の学級便り，毎月の納所便りをご覧ください。